

講義コード	515105301	
講義名	キャリアデザイン	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科（短大）	
講義開講時期	通年	
基準単位数	1	
時間	0.00	
代表曜日	火曜日	
代表時限	5時限	
科目分類名	教養科目	
科目分野名	B群	
対象学部・年次	短期大学部・2年	
必須/選択	必修	
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	青木 章彦	指定なし
専任教員	教務委員会（短大）	指定なし

授業の概要

授業の概要

社会人基礎力を養うとともに、保育現場でのキャリア形成について理解する。
園長等の保育現場の先生の特別講義を通して、保育現場の課題を理解する。
毎回、プリントを配布する。また、詳しい資料はTeamsにアップロードするので、熟読すること。

授業の方法

①プレゼンテーションの方法

授業では、板書と配布印刷物、ICTを活用する。また、DVD教材なども見る。

②授業形態

教材をスクリーンに映しながら、講義形式で説明する。
ワークシートに記入しながら、キャリア形成についての理解を深める。
ワークシートを用いて、グループワークを行う。

③アクティブラーニング

毎回、ワークシートに記入し理解を深める。また、グループワークを行う。
理解度確認のために、ICTを用いて確認テストを行う。

④課題に対するフィードバックの方法

復習課題について、次回に解説を行う。
確認テストの後に、解答の解説を行う。

授業の到達目標及びテーマ

この授業では、社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる能力や態度の育成を図る。

到達目標については、学習成果における①保育者観、②知識・技能、③実践力と実務能力、④人間性と協働性が該当する。特に①、③、④を重視する。

この授業は、幼児教育科のディプロマ・ポリシーの「1.諸領域（人と自然・人と社会・人と文化・言語・情報・キャリア形成）の学問分野における基礎的知識を持っている。」を達成するための科目である。

授業計画表

回	担当教員
第1回	オリエンテーション 社会人基礎力について
第2回	自分を知る 自己PRと志望動機のフレームワーク
第3回	相手を知る 保育者の専門性について
第4回	就職にあたって必要なことをまとめる
第5回	就職説明会のまとめ
第6回	保育のプロフェッショナルになるには
第7回	保育現場でのキャリア形成について
第8回	保育現場でのコミュニケーションについて

第9回	グループワーク コミュニケーションスキルを磨く
第10回	ロールプレイ 園長先生と保育者に分かれて
第11回	講話 (幼稚園園長)
第12回	講話を受けてのグループワーク 保育現場で求められる保育者とは
第13回	講話 (保育園園長)
第14回	講話を受けてのグループワーク 長く保育者として勤めるには
第15回	まとめ 保育者としてのキャリア形成を改めて考える

授業時間外の学修

毎回、授業の最後に復習課題を伝える。次の授業までに復習をすませしておくこと (所要時間30分)。また、同時に、次回の授業範囲を伝えるので、事前課題を学習すること (所要時間15分)。

復習課題は、Teamsに提出すること。

毎回、資料をTeamsにアップロードするので、事前に下読みしてくること。

実務経験の有無

ディプロマポリシーとの関連

①幼児教育者観	②知識・技能	③実践力と実務能力	④人間性と協調性
◎	○	○	◎

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
課題解決能力	他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたとしてもなかなか自身の能力で課題を解くことが難しいので、できるだけ一緒に課題解決ができるよう支援している
調査する力 (予習も含む)	自ら進んで予習範囲を越えて調べるとともに、それを他者に説明することができる	定められた予習範囲について自分の力で調べることができる	定められた予習範囲について調べてはいるが、その理解にはあいまいな点が多く、不十分な部分がある	定められた予習範囲について調べられない。もしくは内容が不十分である
レポート力 (復習も含む)	テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについての分析がなされていない

成績評価法 (表形式)

	評価基準	備考
定期試験		
小テスト等	50%	毎回の復習課題、確認テストを評価する。
成果発表		
授業への貢献度		
レポート	50%	レポートで、授業内容全般の理解度を評価する。

その他		
-----	--	--

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
その都度解説、講評する	その都度解説、講評する	その都度解説、講評する

ICTを活用した双方向型授業の内容

等	クリッカー、アンケート、小テスト
ム	ビデオ会議システム
	チャット
用	掲示板の活用
用	メール等の活用

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の60～100%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート（議論の間） プレゼンテーション コメントシートの活用 小テストや授業内レポートの活用 調べ学習・調査の活用	PBL(課題解決型授業)	授業後レポート

教科書

なし
但し、詳しい資料をSharePointにアップロードする。

参考書

『平成29年告示 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』 チャイルド本社 ¥540

SDGsとの関連

に	4. 質の高い教育をみんな
---	---------------

特記事項等

①実務経験のある教員 特になし
②ナンバリング LCA2301, LCA2401
③オンライン授業の実施方法 Teamsによる教材提供、リアルタイム授業、小テスト、レポート等、また、ハイブリッド式授業を行う。
④その他の特記事項 特になし

学生へのメッセージ

一緒にキャリア形成を考えていきましょう。そして、職場で長く勤めるためのスキルも身に付けましょう。

研究室（訪問先等）

中央研究棟2階 224研究室 火・水・木・金が出講日です。
直接、研究室を訪ねてください。

電話番号

028-667-7111(代)

授業用E-mail

aoki@sakushin-u.ac.jp

成績評価法

- ①レポート 50% レポートで、授業内容全般の理解度を評価する。
- ②小テスト等 50% 毎回の復習課題、確認テストを評価する。